

平成 23 年 11 月 30 日  
メディアスエフエム番組審議会事務局

## メディアスエフエム第 26 回番組審議会 議事録

### 1. 開催日時

平成 23 年 11 月 30 日（水）16 時 00 分から 17 時 00 分

### 2. 開催場所

知多メディアスネットワーク(株)3 階すいせん西会議室

### 3. 出席者 ※敬称略

委員) 紀藤 輝明、角田 由紀子、加藤 龍子、田中 勝志郎、寺島 賀子、林 繁八  
以上 4 名

※早川委員は欠席

事務局) 高池 文夫 (代表取締役常務)、山本 隆明 (コンテンツ部副部長)、  
松山 崇臣 (コンテンツ部編成企画G)

### 4. 議事内容

(1) 報告事項・・・事務局

① 10 月、11 月の活動報告

② 今後の予定

③ アンケート・データについて

(2) 活動報告、番組について審議・・・委員

### 5. 審議内容

#### ○活動報告、番組についてのご意見

加藤委員/アンケート結果の反映に対してこれまでどのような対応をしてきたのか。

結果に現れている「車中での聴取が中心」との意見に注目し過ぎると、音楽中心の番組構成に流れていきがちなので注意する必要がある。少しの時間でも生活に反映される内容を放送する方が良いのではないか。

事務局/これまでのアンケート結果の反映については今年 8 月に行った番組改編にて、反応の高かった防災と子育てに関する番組を新規に追加、平日夕方  
の時間帯のみ音楽を中心にお届けする番組に変更するなどの対応を行った。

加藤委員／防災に関しては繰り返し伝達することが必要。避難情報や津波に対する標高などのポイントを繰り返し放送することで、災害時におけるリスナーの確かな状況判断に役立つのではないか。

林委員／面白いジングルを放送することで局の PR が上手くできていると感じる。

事務局／一つ一つの PR は良いかもしれないが、体系的な PR は不十分だと考えている。アンケート結果に出ている 50%の認知度は、3 年間ほど毎月公開放送を行ってきた一つの成果だと思うが、行政イベントとの公開放送をいつまで継続し、いつ民間のイベントに切り替えるか。また認知度を更に向上させるにはどのような手段を用いればよいかは今後検討していきたい。

#### ○その他のご意見

林委員／世間的にラジオの聴取習慣が無くなってきていることが気になる。生でリスナーと電話を繋いでリスナーを獲得してはどうか。同じリスナーからのメッセージを取り上げることが多く、またか・・・と感じる。

事務局／習慣自体を変えることは難しいし、電話を繋ぐとなると人物を特定されることを嫌がるリスナーが多いので難しい。同じリスナーばかりを取り上げると、他のリスナーが入り辛くコミュニティができあがっている感じは否めないで、幅広いリスナーからのメッセージを紹介していきたい。

寺島委員／メディアスエフェムの存在を知っていても、83.4 という周波数まで知らない人もいる。また、夜しかラジオを聴けない人もいて、特に若者にとっては夜の時間帯が主な聴取となる。

加藤委員／聴けない時間帯が多いのは確か。聞き逃しをサポートするサービスは無いのであろうか。そこをクリアすると活路が見出せるのではないか。

寺島委員／今日の放送内容が HP に出るようになると良い。

加藤委員／パーソナリティーの顔や名前をどんどん出していくことでファンの獲得に繋がるのではないか。そこで他との差別化を図っていくとよい。

事務局／順次検討していきたい。

次回開催は平成 24 年 1 月 25 日（水）を予定。

以上

文責：コンテンツ部 松山 崇臣